

3月22日(米国時間)発表プレスリリースの要約です。



ニュースリリース

クロノスの新会員Monotype Imaging, Scaleform, TATを発表 GDC会場で数多くのOpneVGデモンストレーションが行われる

2006年3月22日 - カリフォルニア州サンノゼ、オープンで、ロイヤリティ無料の業界標準API仕様策定と開発の支援を行うThe Khronos™ Group (以下: クロノス)は、数多くの会員企業がOpenVG 1.0対応製品の出荷を開始したと発表しました。OpenVG1.0は、ロイヤリティ無料のオープンなローレベル2Dベクター・グラフィックスAPIであり、GDCではクロノスの新会員となったMonotype、Imaging、Scaleform及びTATの各社がAPI開発に参画すると発表しました。

OpenVGは、Flash、SVGといったライブラリのハードウェア・アクセラレーションを可能とし、高度にインタラクティブなパフォーマンスでありながら低消費電力の組み込み及びハンドヘルド機器上で、高品質でアンチ・エイリアスに対応した、スケーラブルな2Dベクター・グラフィックスを可能とします。OpenVGはOpenGL® ESと相互に使用可能で、高性能で完全に統合された2D/3D組み込みグラフィックス・アクセラレーション環境を実現します。OpenVG APIの詳細及び入手はクロノスのWebサイトから可能です(<http://www.khronos.org/openvg/spec.html>)。

GDCクロノス・ブース(1632)でOpenVGデモを公開

Hybrid Graphics、Imagination Technologies、三菱電機/ルネサス、Scaleformの各社がOpenVGデモンストレーションを行います。

またImagination TechnologiesはOpenVGとOpen GL ES APIを使用したScaleform VGxベクター・グラフィックス・アクセラレーションFlashコンテンツのデモンストレーションを行います。

Khronos Groupについて

The Khronos Groupは、会員企業の会費によって運営されるコンソーシアムで、さまざまなプラットフォームやデバイス上で、ダイナミックなメディア・オーサリング/プレーバックを可能とする、ハードウェア/ソフトウェア製品市場の成長のため、OpenKODE™、OpenGL® ES、OpenMAX™、OpenVG™、OpenSL ES™、OpenML™、COLLADA™といった、オープンでロイヤリティ無料の業界標準API開発の支援を行っています。会員企業数は100社(2006年2月現在)。会員企業はKhronos API仕様開発に参画できるほか、一般公開前のさまざまな段階での投票、仕様ドラフトや順応テスト向けのアーリーアクセスを通して、最先端3Dグラフィックス・プラットフォームやアプリケーションの提供を推進可能です。最新情報はWebサイトで公開されています(www.khronos.org)。

###

Khronos, OpenKODE, OpenVG, OpenMAX and OpenSL ES are trademarks of the Khronos Group Inc. COLLADA is a trademark of Sony Computer Entertainment Inc. used by permission by Khronos. OpenGL and OpenML are registered trademarks and the OpenGL ES logo is a trademark of Silicon Graphics Inc. used by permission by Khronos. All other product names, trademarks, and/or company names are used solely for identification and belong to their respective owners.

メディアの方のお問合せ先

ミアキス・アソシエイツ 河西

TEL: 0422-47-5319 / 1+808-754-7959 (GDC会期中)

Email: kasai@miacis.com

読者の方のお問合せ先

www.khronos.org